

まほるば



弘前病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第60号

2006年6月発行

病院周辺に防犯灯を設置（防犯強化対策）

この度、当院の病棟周辺や看護師宿舎等において、夜間の明りが少ない場所を対象に、犯罪から職員を守ることを目的に防犯灯を設置しました。

当院では、桜の咲く季節には不審者が出没し、当直者が警察に連絡する等の対応に追われる事例が発生していることから、病棟周辺を明るくすることで不審者の出没に歯止めがかけられるという思いも込めて、設置の運びとなりました。

4月21日から作動した防犯灯は、周辺の民家に迷惑をかけない程度の明るさで、しかも暗くない明るさを保っています。



企画課長 金澤 正博

【市民講座】“小児に多い耳鼻咽喉科疾患”



当院では、先天性疾患や急性炎症、言語発達遅滞などによる受診が多くみられます。

先天性疾患は、生まれてすぐ気付かれやすいのですが、多くは急な治療が不要なため生活上の注意を説明して様子をみています。中には難聴が疑われるなど検査を必要とすることもあります。2～3か月成長を待ち、検査を進めます。

乳児から学童までにおいて、外来で一番多いのは中耳炎や副鼻腔炎などの急性炎症です。中耳炎は風邪など上気道炎に引き続き発症しますが、集団保育（いわゆる保育園児）、男児、低年齢および人工栄養は、

治りにくい要因とされ注意が必要です。最近、受動喫煙も治りにくい要因として注目されています。

2～3歳になると、言葉が遅い、発音が不明瞭など言語発達遅滞を主訴に受診される方が増えます。言語発達には難聴、精神発達遅滞、自閉症などに加え生育環境も影響します。当院では、言語聴覚士が聴力検査や言語評価の結果に応じて個々のお子様の原因や発達に合わせて楽しく言語訓練を行っています。

5～6歳では、扁桃腺やアデノイド、滲出性中耳炎の手術治療をかかりつけ医から勧められ受診される方が多くなっています。幼児のいびきや無呼吸はアデノイドや扁桃腺の手術で治ることが多いので、耳鼻咽喉科にご相談下さい。

耳鼻咽喉科医長 黒田 令子

津軽の夜空に咲いた大輪の華

梅雨入りして間もない6月17日（土）、天候が心配されていましたが、岩木川河川敷で「第1回ひろさき市民花火の集い」が開催されました。

1989年に市制施行100周年を祝う花火大会が行われてから、弘前市では久しく花火を楽しむ機会はなく、協賛金による「新弘前」市民による市民のための花火大会には、3万人の見物客が足を運びました。

メイン会場での津軽三味線等のイベントの素晴らしさもさることながら、大会後半の約2,500発に上る大輪の花火の連続打ち上げは、瞬きする間も惜しいほどで

ーひろさき市民花火の集いー

した。見物の子供達も、退屈する暇もなく上がる様々な花火に、「おっきいね!!」、「今の花火、蜂が飛ぶみたいに動いたよ!」と、歓声を上げて大喜びでした。

会場から離れた弘前市内各所からも、夜空に咲いた大輪の華のような花火が見え、その大きさや美しさが際立っていました。 庶務係 工藤 真淑



NST の立ち上げに向けて

NST は、Nutrition Support Team の頭文字をとった略称で、日本では「栄養サポートチーム」と訳されています。NST は、1970年にシカゴで、医師、薬剤師、栄養士、看護師などの多職種が集まり、専門的な栄養管理チームの必要性を唱えたのが最初と言われています。その後欧米諸国に広がり、日本でも、2000年頃より多くの施設で設立あるいは準備がなされてきています。

当院では、2006年4月、NST 設立準備会が発足し、各部署からメンバーが選ばれました。NST の活動に向けて、勉強会を通して栄養について個々の知識を高めること、そして、NST が院内でうまく稼働し、栄養の面から患者様の早期回復が得られるよう組織

作りを進めています。最初の活動として、「第1回 NST 勉強会」が“NST 総論”というテーマで6月1日に開かれ、NST メンバーのみならず多数の方々に参加いただきました。



今後も勉強会を予定しており、興味のもてる皆様方の肥やしとなれる情報を発信できればと思っています。職種を超え、栄養管理をサポートする NST は誰でも参加できます。ご助言ご協力等をよろしくお願いいたします。

外科医長 横山 昌樹

看護学校レクリエーション



5月30日（火）・天候曇り、学生120数名と学校長、教員を乗せたバスは、深浦ウエスパ椿山からサンタランド、十二湖方面に向けて8時10分に看護学校を出発しました。ウエスパ椿山に向かう途中に大粒の雨が降ってきたので、十二湖散策の時間を減らし椿山での時間を多くしました。硝子

館や物産館でおみやげを買い、時間はあっという間に過ぎました。男子学生11人はしっかり入浴し有意義に過ごしたようです。昼食はサンタランドで弁当をいただき、フィンランドから来たサンタさんの登場に皆大喜びでした。そうした中、雨足はますます強くなり、楽しみにしていた十二湖散策はバスの窓からの眺めになりました。千畳敷の道の駅でトイレ休憩し、わずかの時間に潮風に吹かれ帰途に着きました。学生は、サンタさんとの写真が思い出に残ったようです。

教員 花田 聖子

親子バス遠足（風の子保育園）



6月3日（土）、風の子保育園の親子と保育士総勢80名で「浅虫水族館」に行ってきました。

大型バスの中では、自己紹介や歌、手あそび、さかなクイズ、早口ことばあそびなど水族館までの道のりを元気な歌で楽しみ、朝から大にぎわいでした。

水族館に入ると、ゆうゆうと泳ぐ大きいエイにびっくり。キラキラ輝く海のトンネルをくぐり、たくさんのさかなを見ることができました。触れ合いコーナーでは、ホタテ貝・うに・ひとでなどを触ったり、一つひとつの動きに興味深々に観察していました。水槽の中で大アザラシが顔を見せると、あまりの大きさにびっくりして“こわい”と思わず後ろに下がってしまう年長の女の子や、かわいいラッコの泳ぎに見とれる子もいました。ラッコの食事タイムでは、

お腹の上でコンコンと割って食べる姿を想像していたのですが、貝を壁に投げて割り、お腹の上で食べる姿は印象的でした。子どもたちに一番人気があったのはイルカでした。イルカの食事タイムは、イルカの体調やその日の気分を飼育係が餌をあげながら触って判断する大切な時間とのことですが、飼育係以外に一般客もイルカに餌をあげるコーナーがあり、子どもたちは、恐る恐るイルカの側まで行って、餌（ほっけ、さば、ししゃも）を大きい口の中に入れ、初めての体験に感動していました。水量700トンの屋内ショープールでは、力強いダイナミックなイルカショーが迫力満点で、イルカのハイジャンプに親子で感激の声、拍手を送っていました。ショーのお手伝いにと、観客の中から選ばれた園児の“だいご君”と“れいなちゃん”もイルカにボールや輪を投げてしっかりと役目を果たし、大満足の様子でした。

帰りのバスの中では、親子でよりそってぐっすり。お父さん、お母さん、お疲れ様でした。親子の触れ合いに溢れた楽しい一日でした。

園長 諏訪 栄子

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2006年6月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内 科		人 見 博 康	小 沢 一 浩	人 見 博 康	小 沢 一 浩	小 沢 一 浩
呼 吸 器 科		山 本 勝 丸	中 川 英 之	中 川 英 之	山 本 勝 丸	中 川 英 之
消 化 器 科		佐 藤 年 信 吉 谷 元	佐 藤 年 信 中 畑 元	佐 藤 年 信 吉 谷 元	中 畑 元 (吉 谷 元)	佐 藤 年 信 中 畑 元
小 児 科		杉 本 和 彦 野 村 由美子 (佐 藤 啓)	野 村 由美子 遠 藤 泰 史	杉 本 和 彦 神 田 進 (佐 藤 啓)	神 田 進 遠 藤 泰 史	野 村 由美子 杉 本 和 彦 佐 藤 啓
外 科		山 中 祐 治 坂 本 義 之	高 橋 克 郎 三 上 勝 也	横 山 昌 樹 山 中 祐 治	横 山 昌 樹 高 橋 克 郎	三 上 勝 也 坂 本 義 之
整 形 外 科	午前	柿 崎 寛 佐々木 資 成 近 江 洋 嗣	柿 崎 寛 菅 原 卓	佐々木 資 成 田 中 大	佐々木 資 成 大 鹿 周 佐	柿 崎 寛 田 中 大
	午後	/	/	/	/	柿 崎 寛
脳神経外科		/	/	木 村 正 英	/	/
皮 膚 科	午前	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳	鳴 海 博 美 間 山 淳
	午後	/	● 手 術	鳴 海 博 美	● 手 術	間 山 淳
泌 尿 器 科		橋 本 安 弘	橋 本 安 弘	橋 本 安 弘	橋 本 安 弘	橋 本 安 弘
産 婦 人 科		真 鍋 麻 美 工 藤 香 里	佐 藤 春 夫 工 藤 香 里	真 鍋 麻 美 工 藤 香 里	● 妊 婦 健 診	佐 藤 春 夫 真 鍋 麻 美
眼 科		蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義	蒔 苗 順 義
耳 鼻 咽 喉 科		黒 田 令 子 阿 部 尚 央	黒 田 令 子 阿 部 尚 央	● 手 術	黒 田 令 子 阿 部 尚 央	黒 田 令 子 阿 部 尚 央
放 射 線 科	診 断	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄	佐々木 幸 雄
	治 療	/	阿 部 由 直 (午後)	/	/	/
麻 酔 科		● 手 術	工 藤 明	● 手 術	工 藤 明	● 手 術

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【みんなにわかる医学用語解説②】(新シリーズ)

『こんな言葉が分からない。』というようなことがありましたら、どしどし身近な看護師にお伝え下さい。
伝え聞いた看護師は、どんな方法でも結構ですから、小児科の神田までお知らせ下さい。

お父さん、ピーエムアイって何？BMIっていうのはなあ、ドイツ製の自動車でカッコいいとあこがれてる人が大勢いて高い車だ。うちには関係ない。そんなのが病気と関係あるの？えっ、病気？なんで病気の話になるんだ？BMIが高いと糖尿病にもなりやすいって書いてあるよ。えっ？何だそりゃ。えーと、BMIが高いとコレステロールや中性脂肪が高いことが多く、また高血圧の合併、糖尿病の合併も多くなる。コレステロールが260以上あると心筋梗塞で死亡する確率も高くなり…。これってお父さんのことじゃない？おいおい、脅かすなよ。お父さんは、コレス

テロールはちょっと高いけどBMIなんて病気じゃねえよ。病気の名前じゃないみたいだよ。えーと、BMIの計算式は体重(kg)を身長(m)の2乗で割る。あっ、肥満を表す指標って書いてあった。なーんだやっぱりお父さんのことじゃない。BMIで25以上を肥満1度という、標準のBMIは22である、だって。お父さんいくつ？41歳だよ。年じゃなくてBMI。お父さんは肥満3度位かな。あっ、BMIが高くて、しかも腹囲が大きいタイプが最も危険なんだって。やっぱりお父さんのことじゃない。ひゃー、やめてくれー。

小児科医長 神田 進

【職場紹介】研究検査科

当院の研究検査科は、①生理検査（脳波・心電図・ホルター心電図・脈波・肺機能検査、聴性脳幹反応、在宅簡易型無呼吸計測装置による閉塞性睡眠時無呼吸症候群スクリーニング等）、②一般検査（US-3100）、③血液検査（XT2100i・CA1500）、④生化学検査（c8000／i200SR・緊急用インテグラ400plus・ガス自動分析装置・全自動グルコース分析装置等）、⑤血清検査（ルミパルスフォルテ・BNA等）、⑥細菌検査（RAISAS）、⑦病理検査（自動包埋装置・クリオスタット・自動染色装置・自動封入装置等）、⑧輸血検査（バイオビューシステム）等の検査を実施しています。また、平成17年10月からは、臨床検査オーダリングシステムを導入して現在に至っています。なお、従来から計画してきた、①伝票の見直し（統合伝票）、②現有機器の有効利用、③データのコンピュータ入力（前回値との比較・緊急検査の手書きの廃止等）、④検

体検査室の一部ワンルーム化等については、現状の中で可能な範囲で実現することができました。当科では更に、検査試薬や消耗品などの見直しも含め職員のコスト意識の向上、院内感染対策委員会への資料提供、各検査部門から各職場への情報提供等について、当科職員（研究検査科長、臨床検査技師8名、助手1名）で業務を分担し、協力し合って頑張っています。その他、各職場との連携を密にし、臨床部門から必要とされる研究検査科を目指し、それに対応できるよう目的意識を持って努力していますので、今後ともご支援の程よろしくお願いします。



臨床検査技師長 高橋 俊英

【ふるさと紹介】喜多方市

私の生まれ故郷である福島県喜多方市は、「喜多方ラーメン」と「蔵のまち」で有名な市であり、初めて訪れた方にも懐かしい郷愁を感じさせずにはおかない、素朴な趣のあるまちです。表通りはもちろんのこと、裏路地や郊外の集落にまで蔵があり、その数は二千六百棟余と言われています。何故こんなに多くの蔵が建てられたのか？それにはいくつかの理由があります。まず、いまでも酒蔵、味噌蔵として使われており、良質の水と米に恵まれた土地ならではの醸造業を営む場として、蔵が最適な建物であったことが挙げられます。喜多方は清冽な湧き水とおいしい米に恵まれた酒造りの里です。ほこりや雑菌を嫌い、一定の温度を求める醸造には、厚い壁で外気を遮る蔵の中が最適な場所です。昔から培われた伝統的な酒造りに新しい技術を加え、長い間かけて熟成された芳醇な味と香り。うまい酒を求める職人の人情と心意気に触れることができます。

全国に喜多方の名を響かせるのが、名物「喜多方ラーメン」。人口37,000人余のこのまちに、なんと

130軒余のラーメンの店があります。麺は、ほどよくゆであげたコシのあるためのちぢれ麺で、全店に共通しています。個性的な持ち味のスープは、口あたりのよいあっさり風味あり、こってりと煮込んだ濃厚スープありで、手作りのチャーシューも魅力です。



また山都町は、そばの里で有名な町です。飯豊連邦からの清らかな湧水が香り高いそばを育みます。そばはもちろんのこと、霊峰飯豊山の登山口、溪流釣り場としても有名です。毎年行われる「新そばまつり」には多くのそば通が集まります。

もし喜多方を訪れる機会がありましたらぜひ自然に囲まれた町と接してみてください。日頃の仕事の疲れを少しでも癒していただけたら光栄です。

薬剤師 東條 友亮

【今月の川柳】

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。

◆ 読者の皆さんには、いつも投稿いただき有り難うございます。この度、カマダ様からたくさんの投稿がありましたので、今回は「カマダ特集」とさせていただきます。

新人の 看護師笑顔に ポツとなり

（カマダ）

看護師が 私服で「お疲れ」 誰だっけ？

（カマダ）

看護師の やさしい言葉に すくわれて

（カマダ）

発行元 独立行政法人国立病院機構弘前病院
Hirosaki National Hospital
責任者 副院長 佐藤 年信

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>